**第2学年1組　国語科（書写）学習指導案**

1. 単元名・教材名　手紙の書き方「よこ書きとたて書き」
2. 単元の目標

○文字の中心に気をつけて書くことができる。

1. 本時の学習（本時１／１）

(1)目標

○文字の中心に気をつけて手紙を書くことができる。

(2)展開(○は指導上の留意点、　　　　　 内は評価を表す。)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導の留意点 | 時間 |
| １　手紙について想起する。  2　本時のめあてをつかむ。  文字の中心をそろえて、手紙を書こう。  3　これまでに学習したことを振り返る。  4　中心に気を付けて手紙を書く。  5　自己評価する。  6　次回の学習内容を知る。 | ・自分の体験の振り返り  ・本時の学習課題の把握  ・前時までの学習の振り  返り  ・中心に気を付けた文の  書き方  ・自分の活動の振り返り  ・次回の見通し | ○手紙を見たり書いたりした体験を振り返り、手紙はどんなものか想起できるようにする。  ○気持ちや用件を相手に伝えるための手段であることから、きれいに書いて送ることが望ましいと気付くようにする。  ○前時の書初めの練習から、文章を書く時には中心を意識するとよいということに気付くようにする。  ○書写ノートを見返すことで、きれいに書くためのコツを思い出せるようにする。  ○字の中心について振り返り、中心を自分で見つけられるようにする。  ○縦書きと横書きを比較し、中心の取り方や数字の書き方に違いがあるということに気付くようにする。  ○まずは例文を写し取る作業を通して、中心に気をつけて手紙を書く感覚を確かめられるようにする。  ○見本を見ながら実際に手紙を書く活動を通して、うまく中心をとるコツがつかめるようにする。  ○途中で上手に書けている子の手紙を書画カメラで写し、上手に書くために文字の大きさや位置などに意識できるようにする。  文字の中心に気をつけて手紙を書いている。  （机間指導、ノートによる考察）  横書きの手紙の文章を書く際に、見本を見て中心線に文字のどの辺りが重なっているのかに注目して書く姿や、机間指導において中心に気をつけている発言があれば「おおむね満足できる状態である」と判断することができる。  ○自己評価をすることにより、自己肯定感を高めたり、改善点を見つけたりすることができるようにする。  ○次回への意欲を高められるようにする。 | 5′  5′  5′  20′  5′  5′ |

1. 備考　在籍児童数　35名
2. 板書計画

|  |
| --- |
| 手紙の書き方  「よこ書きとたて書き」  めあて  文字の中心をそろえて、  手紙を書こう。  ちがいは？  ・たて書き…かん字の数字  　よこ書き…数字  ・たて書き…、  よこ書き…，  ・中心のとりかた　たて  　　　　　　　　　よこ |